

新光製糖株式會社



第97期中間報告書

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素よりご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび社長に就任いたしました森永剛司でございます。

ここに当社グループの第97期中間連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業の概況及び中間連結財務諸表等につきましてご報告申し上げます。

さて、当社と日新製糖株式会社（以下「日新製糖」といいます。）は、平成23年10月3日をもって、共同株式移転の方法により、両社の完全親会社となる共同持株会社「日新製糖ホールディングス株式会社」（以下「共同持株会社」といいます。）を設立し、経営統合いたしました。本経営統合に伴い、当社及び日新製糖の株式は、平成23年9月28日にそれぞれ大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）（当社）及び東京証券取引所（日新製糖）の上場を廃止し、新たに設立された共同持株会社の株式につきましては、平成23年10月3日に東京証券取引所（市場第二部）に新たに上場されております。

当社の主力事業である精糖事業においては、精糖業界をめぐる国境措置低減の動き、並びに我が国の少子高齢化や甘味離れによる国内砂糖需要の漸減といった国内精糖事業に関する経営環境の変化が予測されております。一方、海外では人口の増加に加え、新興国の経済発展による食生活の変化から、アジアを中心に砂糖需要は伸び続けており、今後、海外市場での展開が求められる環境になりつつあります。

こうした厳しい環境の下、今後のコスト、販売及び品質競争に勝ち抜き、将来のグローバル市場における発展に繋げられるよう両社で十分な協議を行い、国内基盤を強化し、両社の経営資源を一体的に活用することで一層の企業価値

向上を図ることを目的に、経営統合をいたしました。

今後は、東日本・西日本における両社の生産・販売拠点の一体的・効率的運営、グループ横断的なコスト削減及び研究・開発向上等によるシナジー効果を追求するとともに、統合効果をより高めるために事業及び組織の再編を進め、できるだけ早い時期に当社、日新製糖、共同持株会社3社の合併を目指してまいります。

また、安心して安全かつ高品質の製品とサービスを安定的にお届けすることを通して、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様の信頼とご期待にお応えする所存でございます。

この経営統合により、当社は新たな一歩を踏み出しましたが、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



平成23年12月

代表取締役社長 森永剛司

事業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害により、一部回復の兆しが見えていた企業活動は大きな影響を受け、先行き不透明な状況で推移しました。雇用・所得環境は、引き続き厳しい状況にあり、個人消費は低調に推移しました。

精糖業界につきましては、個人消費の低迷等の影響により、砂糖需要の漸減が続いており、国内砂糖市況は先行き不透明な状況にあります。

当中間連結会計期間の海外粗糖市況は、ニューヨーク砂糖先物市場（11号約定、期近限月の引け値）1ポンド当たり期初27.44セントで始まり、平成23年5月上旬に20.47セントまで値を下げました。その後、主要産地であるブラジルの減産懸念等を背景に一時30セントを超える勢いをみせた後、26.34セントで当中間連結会計期間を終了しました。国内砂糖市況（日本経済新聞掲載、大阪上白糖現物相場1キログラム当たり）は、期初190円で始まり、平成23年7月後半に186円に値を下げ、同レベルを維持して当中間連結会計期間を終了しました。

当社グループの主な部門別の概要は、次のとおりであります。

精製糖・液糖部門は、東日本大震災の影響により、一部コ

ーザーに西日本への生産シフトの動きがあったこと等から需要が一時的に増加し、販売数量は前年同期比増加しました。売上高は、国内砂糖価格が前年同期比上昇したことも加わり、6,818百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

氷砂糖部門では、主産地である和歌山県で収穫直前に接近した台風の影響により、青梅が落下し、市場への出回り数量が昨年比減少したことから、主要用途であります梅酒・梅シロップ用の需要が落ち込み、販売数量は前年同期比減、売上高は500百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

精製糖、液糖及び氷砂糖を除くその他の売上高は110百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの売上高は7,429百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

利益面では、原料粗糖の適切な価格での調達、採算を重視した販売、及び製造コスト削減等に努めましたが、原料粗糖価格上昇分の販売価格への転嫁が遅れたこと及び経営統合に係る一時的な費用増等が影響し、営業利益は前年同期比31.0%減少し、375百万円となりました。経常利益は、前年同期比31.8%減の444百万円となり、当中間純利益は前年同期比28.4%減の297百万円となりました。

経営理念

- 公正で透明性の高い経営を通じて、従業員の豊かさ、お客様の満足、株主の利益を追求する。
- 人間尊重を基本として、信用を重んじ、高品質で安全な製品を提供する。
- 地域社会に貢献し、信頼される企業を目指す。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	7,338,272	7,438,622	流動負債	807,022	1,327,086
現金及び預金	603,611	529,803	買掛金	156,023	477,978
売掛金	435,684	668,671	未払法人税等	179,243	85,009
有価証券	199,934	—	未払金	221,732	479,635
商品及び製品	619,789	605,916	役員賞与引当金	4,500	15,150
仕掛品	135,458	192,208	その他	245,522	269,312
原材料及び貯蔵品	655,810	908,903	固定負債	293,065	297,194
繰延税金資産	61,640	65,405	退職給付引当金	236,620	239,492
預け金	4,620,000	4,450,000	役員退職慰労引当金	55,932	55,903
その他	7,343	18,712	その他	511	1,798
貸倒引当金	△1,000	△1,000	負債合計	1,100,087	1,624,280
固定資産	6,406,977	6,636,303	純 資 産 の 部		
有形固定資産	3,677,653	3,736,107	株主資本	12,439,500	12,257,418
建物及び構築物	835,217	861,042	資本金	1,495,000	1,495,000
機械装置及び運搬具	1,396,422	1,553,635	資本剰余金	942,783	942,783
土地	1,148,574	1,151,226	利益剰余金	10,018,668	9,835,971
建設仮勘定	241,810	105,839	自己株式	△16,950	△16,336
その他	55,628	64,363	その他の包括利益累計額	3,325	5,738
無形固定資産	126,364	145,929	その他有価証券評価差額金	3,325	5,738
ソフトウェア	116,531	134,826	少数株主持分	202,336	187,487
ソフトウェア仮勘定	9,833	11,103	純資産合計	12,645,162	12,450,645
投資その他の資産	2,602,959	2,754,265	負債純資産合計	13,745,250	14,074,925
投資有価証券	2,435,729	2,587,446			
繰延税金資産	133,722	133,475			
その他	41,115	40,951			
貸倒引当金	△7,607	△7,607			
資産合計	13,745,250	14,074,925			

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,429,260	6,765,568
売上原価	6,089,886	5,345,025
売上総利益	1,339,374	1,420,543
販売費及び一般管理費	963,923	876,479
営業利益	375,450	544,063
営業外収益	69,885	117,632
受取利息	9,991	14,872
受取配当金	3,766	4,707
持分法投資利益	52,245	92,459
その他	3,882	5,592
営業外費用	949	10,436
固定資産処分損	887	9,415
その他	62	1,020
経常利益	444,387	651,259
特別利益	42,151	—
税金等調整前中間純利益	486,539	651,259
法人税、住民税及び事業税	167,258	239,258
法人税等調整額	5,195	10,861
少数株主損益調整前中間純利益	314,086	401,139
少数株主利益又は少数株主損失(△)	16,558	△14,304
中間純利益	297,527	415,443

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	682,533	444,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491,163	△221,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,561	△117,368
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	73,807	105,711
現金及び現金同等物の期首残高	529,803	292,284
現金及び現金同等物の中間期末残高	603,611	397,996

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金			その他の包括利益 累計額合計
平成23年4月1日残高	1,495,000	942,783	9,835,971	△16,336	12,257,418	5,738	5,738	187,487	12,450,645
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△114,831		△114,831				△114,831
中間純利益			297,527		297,527				297,527
自己株式の取得				△614	△614				△614
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△2,413	△2,413	14,848	12,435
中間連結会計期間中の変動額合計			182,696	△614	182,082	△2,413	△2,413	14,848	194,517
平成23年9月30日残高	1,495,000	942,783	10,018,668	△16,950	12,439,500	3,325	3,325	202,336	12,645,162

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	7,008,334	7,099,895	流動負債	793,916	1,275,465
現金及び預金	557,759	452,043	買掛金	170,118	488,995
売掛金	419,171	602,988	未払法人税等	178,985	84,492
有価証券	199,934	—	未払金	229,692	461,798
商品及び製品	623,082	611,512	役員賞与引当金	4,500	15,150
仕掛品	135,458	192,208	その他	210,620	225,029
原材料及び貯蔵品	655,810	908,903	固定負債	247,960	252,199
繰延税金資産	61,640	65,405	退職給付引当金	209,341	210,599
預け金	4,350,000	4,250,000	役員退職慰労引当金	38,107	39,801
その他	6,477	17,833	その他	511	1,798
貸倒引当金	△1,000	△1,000	負債合計	1,041,877	1,527,665
固定資産	4,523,539	4,803,926	純 資 産 の 部		
有形固定資産	3,631,343	3,688,630	株主資本	10,486,670	10,370,417
建物	723,044	740,813	資本金	1,495,000	1,495,000
構築物	97,739	104,469	資本剰余金	942,783	942,783
機械及び装置	1,367,428	1,526,156	資本準備金	942,000	942,000
車両運搬具	2,933	4,382	その他資本剰余金	783	783
工具器具及び備品	55,057	63,638	利益剰余金	8,065,837	7,948,970
土地	1,143,329	1,143,329	利益準備金	117,000	117,000
建設仮勘定	241,810	105,839	その他利益剰余金	7,948,837	7,831,970
無形固定資産	126,364	145,929	別途積立金	7,300,000	6,700,000
ソフトウェア	116,531	134,826	繰越利益剰余金	648,837	1,131,970
ソフトウェア仮勘定	9,833	11,103	自己株式	△16,950	△16,336
投資その他の資産	765,830	969,366	評価・換算差額等	3,325	5,738
投資有価証券	368,138	572,084	その他有価証券評価差額金	3,325	5,738
関係会社株式	240,077	240,077	純資産合計	10,489,995	10,376,156
繰延税金資産	133,722	133,475	負債純資産合計	11,531,873	11,903,821
その他	23,893	23,729			
資産合計	11,531,873	11,903,821			

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期
	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,348,540	6,662,721
売上原価	6,033,824	5,257,763
売上総利益	1,314,716	1,404,957
販売費及び一般管理費	927,377	833,156
営業利益	387,338	571,801
営業外収益	17,498	23,863
受取利息	6,246	10,939
有価証券利息	3,094	3,141
受取配当金	5,252	6,193
その他	2,904	3,588
営業外費用	943	9,542
固定資産処分損	881	9,287
その他	62	255
経常利益	403,892	586,122
税引前中間純利益	403,892	586,122
法人税、住民税及び事業税	167,000	239,000
法人税等調整額	5,195	10,861
中間純利益	231,697	336,260

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	利益剰余金 合計						
平成23年4月1日残高	1,495,000	942,000	783	942,783	117,000	6,700,000	1,131,970	7,948,970	△16,336	10,370,417	5,738	5,738	10,376,156
中間会計期間中の変動額													
別途積立金の積立						600,000	△600,000	—		—			—
剰余金の配当							△114,831	△114,831		△114,831			△114,831
中間純利益							231,697	231,697		231,697			231,697
自己株式の取得									△614	△614			△614
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)											△2,413	△2,413	△2,413
中間会計期間中の変動額合計						600,000	△483,133	116,866	△614	116,252	△2,413	△2,413	113,839
平成23年9月30日残高	1,495,000	942,000	783	942,783	117,000	7,300,000	648,837	8,065,837	△16,950	10,486,670	3,325	3,325	10,489,995

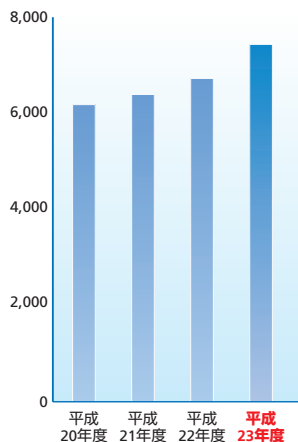
(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間決算ハイライト

連結

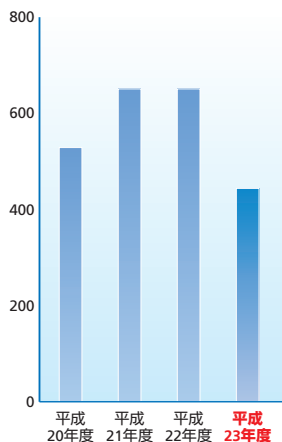
売上高

(百万円)



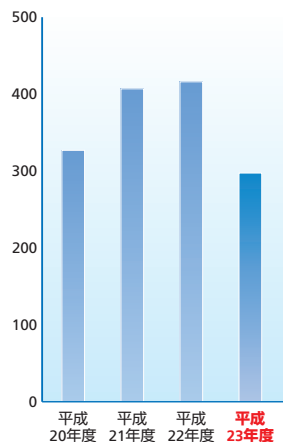
経常利益

(百万円)



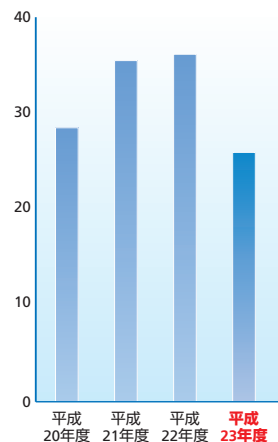
中間純利益

(百万円)



1株当たり中間純利益

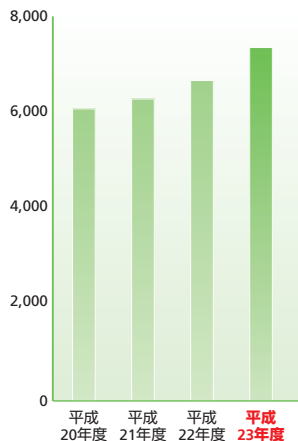
(円)



単体

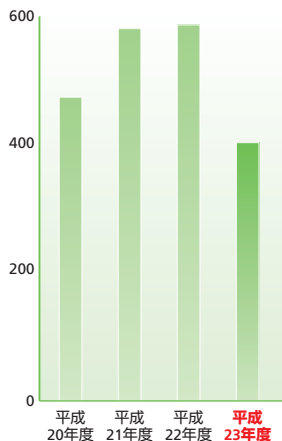
売上高

(百万円)



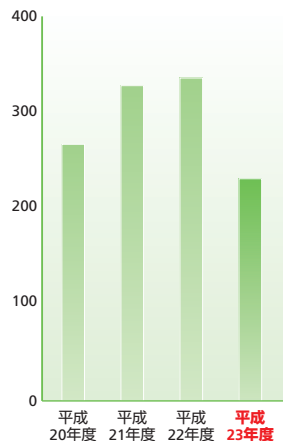
経常利益

(百万円)



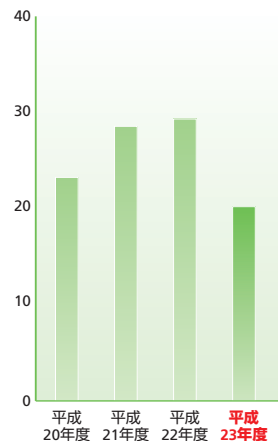
中間純利益

(百万円)



1株当たり中間純利益

(円)



▶▶▶ 日新製糖ホールディングスの始動

日新製糖ホールディングス株式会社は、平成23年10月3日付で、新光製糖株式会社と日新製糖株式会社の経営統合により、両社の完全親会社・共同持株会社として設立されました。

この経営統合に伴い、両社の経営資源を一体的に活用することで企業基盤を強化し、一層の企業価値の向上を図ってまいります。

■グループ会社

新光製糖株式会社 日新製糖株式会社
新光糖業株式会社 日新カップ株式会社
朝日物産株式会社 新東日本製糖株式会社 他



代表取締役会長 竹場紀生 代表取締役社長 樋口洋一

会社概要

日新製糖ホールディングス株式会社

■会社概要 (平成23年10月3日現在)

商 号 日新製糖ホールディングス株式会社
英 文 商 号 Nissin Sugar Holdings Co., Ltd.
設 立 平成23年10月3日
事 業 内 容 砂糖の精製・販売等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
資 本 金 7,000,000千円
ホームページアドレス <http://www.nissin-sugar-hldgs.co.jp/>

■役員の状況 (平成23年10月3日現在)

代表取締役会長 竹 場 紀 生
代表取締役社長 樋 口 洋 一
専務取締役 住 井 昌 三
常務取締役 森 永 剛 司
取 締 役 三 浦 紀 之
取 締 役 青 砥 由 直
取 締 役 砂 岡 睦 夫
取 締 役 西 垣 淳 淳
監査役(常勤) 藤 井 邦 弘
監 査 役 前 田 浩 之
監 査 役 金 田 英 成
監 査 役 延 津 増 拓 郎

新光製糖株式会社

■会社概要 (平成23年10月3日現在)

商 号 新光製糖株式会社
英 文 商 号 Shinko Sugar Co., Ltd.
設 立 昭和19年6月10日
事 業 内 容 精製糖、氷砂糖、液糖の製造販売
資 本 金 1,495,000千円
ホームページアドレス <http://www.shinko-sugar.co.jp/>

■役員の状況 (平成23年10月3日現在)

代表取締役社長 森 永 剛 司
常務取締役 安 部 正 則
取 締 役 山 口 康 展
取 締 役 砂 岡 睦 夫
取 締 役 小 島 睦 夫
取 締 役 砂 坂 静 則
取 締 役 樋 口 洋 一
取 締 役 竹 場 紀 生
監査役(常勤) 安 達 力 郎
監 査 役 森 小 川 悦 克
監 査 役 小 川 英 男



おいしいお砂糖レシピのご紹介

パンディング アングリーズソース風



▶ 作り方

1. フランスパンは薄いきつね色にトーストします。パイナップルは5mm角に切ります。
2. プリン液は、ボウルに卵・卵黄・砂糖を合わせ、よく混ぜます。鍋に牛乳・生クリーム・バニラエッセンスを入れて加熱し、ボウルに少量ずつ加えてよく混ぜ、こします。
3. 耐熱皿にバターを塗り、フランスパンを入れて2を流し、レッドカラント6粒とパイナップルを散らして、そのまま約10分、パンにプリン液がなじむまでおきます。
4. 3を天板にのせ、湯を天板の高さ半分ぐらいまで注ぎ、160℃のオーブンで約15～20分蒸し焼きにします。

▶ 材料 (容量600mlの耐熱皿 4人分)

フランスパン (5mm厚さのスライス)	10枚
パイナップル (缶詰)	2枚
レッドカラント (冷凍)	10粒
プリン液	
卵	2個
卵黄	2個
砂糖	40g
牛乳	1と1/2カップ
生クリーム	1/2カップ
バニラエッセンス	少々
アングリーズソース	
牛乳	1カップ
卵黄	2個
砂糖	40g
バニラエッセンス	少々
バター	適量
ミント	少々

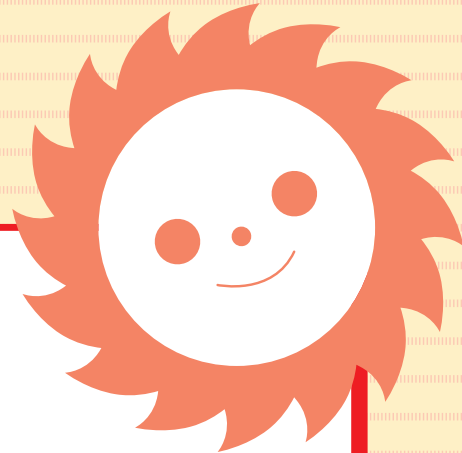
調理ポイント

アングリーズソースは、沸とうさせるとソースが分離するので注意しましょう。バニラエッセンスの代わりに、ラム酒やブランデーを使ってもよいです。

5. アングリーズソースは、ボウルに砂糖と卵黄を入れてよくすり混ぜます。
6. 牛乳1カップを沸とうさせ、5に少しずつ加えて混ぜ合わせ、すべて加えたら再び鍋にもどし、弱火にかけて煮て、木ベラにとって、指で一本筋が書ける程度にねばりがでてきたら火を止め、ボウルにこし入れます。
7. ボウルごと氷水につけて冷まし、荒熱がとれたらバニラエッセンスを加えて香りをつけます。
8. 器に4を盛り分け、7をかけ、レッドカラントとミントを飾ります。



たちうおのレモンマリネ



▶ 材 料 (4人分)

たちうお (切り身)	4切れ
白ワイン	大さじ1
塩・粗びき黒こしょう	各少々
セロリ	1本
ミニトマト	4個
レモン	1個
マリネ液	
赤とうがらし	1本
酢	大さじ2
砂糖	大さじ1
白ワイン	1/4カップ
塩	小さじ1/2
小麦粉、揚げ油	各適量

▶ 作り方

1. たちうおは背ビレを抜き、両面に5~6mm幅の切り込みを入れてから3等分の長さになり、白ワイン・塩・粗びき黒こしょうで下味をつけます。
2. セロリは斜め薄切り、ミニトマトは4等分に切ります。
3. レモンは半分をいちょう切りに、残りは汁をしぼってマリネ液と合わせて中火で一煮立ちさせ、パットにうつします。
4. たちうおに小麦粉をまぶして180℃の揚げ油でカラリと揚げ、2の野菜といちょう切りにしたレモンといっしょにマリネ液に漬込みます。



調理ポイント

たちうおは揚げたての熱いうちすぐにマリネ液につけるとおいしくあがります。

日新製糖ホールディングス株式会社 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	ホームページに掲載します。 < http://www.nissin-sugar-hldgs.co.jp/ > ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部(証券コード2117)

ホームページのご案内



<http://www.nissin-sugar-hldgs.co.jp/>

日新製糖ホールディングス株式会社

〒103-8536
東京都中央区日本橋小網町14番1号
TEL 03-3668-1246

新光製糖株式会社

〒536-0004
大阪市城東区今福西6丁目8番19号
TEL 06-6939-1201



この報告書は、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。